



ツアー ガイドおよび現地観光スタッフ向け情報シート

カナダ歴史博物館 (Canadian Museum of History) は、カナダ最大にして最も人気の高い博物館です。

開館時期: 1989年6月29日にカナダ文明博物館 (Canadian Museum of Civilization) として落成し、2013年12月、カナダ歴史博物館と改名されました。

当博物館の使命: カナダ歴史博物館は、カナダ国民に自国の歴史を伝える国立博物館であるとともに、その貴重な所蔵品を世界中の人々に紹介しています。

設計者: メティス (メイティ) の血を引く (祖母が先住民ブラックフット族である) アルバータ州レッドディア出身の建築デザイナー、ダグラス・カーディナルが設計しました。

この建築は、モントリオールの建築会社 Tétrault, Parent, Languedoc et Associés Inc. のミシェル・ラングドックの協力を得て完成したものです。

建築の特色: 当博物館はオタワ川沿いに位置し、パラメントヒルの美しい景観に恵まれています。外観は、風雨や川、氷河によって形作られたアメリカ大陸の起源を物語るデザイン。カナダ楕状地と氷河、氷河から融け出した川の流れ、そして後退しつつある氷河の手前に広がるグレートプレーンズ (大平原)。建物の形状は、この4つの地勢を抽象的に表しています。

建材: 建設資材は、カナダ国内の各所から取り寄せられました。内装の多くに採用された輝くカレドニアグラニット (花こう岩) はケバック州リヴィエール・ア・ピエールから、外装のティンダルライムストーン (石灰石) はマニトバ州ウイニペグ北東部のガーソンクウォーリーから持ち込まれたものです。石の中に眠る化石は、最初の恐竜が現れる2億5000万年前、オルドビス紀のものでした。

館内

グランドホール: 堂々たるグランドホールは、カナダ太平洋岸に初めて住みついた人々 (ファーストピープル) の歴史や文化、信仰を紹介しています。独特な曲線と、ビルの6階分に相当するガラス張りの壁、そしてパラメントヒルの素晴らしい眺望。グランドホールはこの建築の最大の特徴であり、カナダで最も印象的な屋内公共スペースのひとつでもあります。

ファーストピープルズホール: ファーストピープルズホールは、ファースト・ネーションズおよびメティス、イヌイトと呼ばれるカナダ先住民たちの歴史や多様性、創造性、知恵と忍耐に敬意を表します。

新しいカナディアンヒストリーホール: カナディアンヒストリーホールは、この博物館の歩みの中でも最大の展示プロジェクトです。包括的なアプローチで好奇心を刺激するこの新たな常設展示は、最終氷期の終焉から現代に至るカナダの歴史をありのままに伝える勇気ある試みとなります。重要な事件や出来事、民族、歴史的遺物などに注目するカナディアンヒストリーホールは、カナダの歴史に関するかつてなく広範な展示となります。同ホールは、カナダ連邦結成150周年を祝い、2017年7月1日にオープンします。

カナディアンチルドレンズミュージアム: ミュージアムパスポートを手に見知らぬ土地を次々と訪ねる、子供たちの冒険の場です。インターナショナルビレッジでの異文化体験に、砂漠のピラミッド探訪、港での貨物船の荷降ろし体験、賑やかなバザールの散策と、世界、そして各国文化を学ぶ楽しみは尽きることがありません。

IMAX®シアター: カナダ歴史博物館には、IMAX® 3Dスクリーンと、北米唯一のドームシアターがあります。歴史や文化、自然を美しい映像で味わう感動的な冒険の旅は、ここでしか手に入りません。

豆知識

延べ床面積およそ10万平方メートル (100万平方フィート以上)。

所蔵品420万点以上。展示されているのはその1~3%のみ。

特別イベントの会場としても最適。かつての訪問客には、元アメリカ大統領のG. W. ブッシュにビル・クリントン、エリザベス2世女王陛下、中華人民共和国の國務院総理、イギリスのケンブリッジ公と公爵夫人などの要人が名を連ねます。

サービス: カフェテリア・ビストロ・カフェ・デザートショップ・Beaver Tails™ (ペイストリーショップ)・ブティック・手荷物預かり所・駐車場・団体入場口・ガイド付きツアー・ミーティングスペース・ピクニックエリア

開館時間: 月曜から日曜の午前9時30分から午後6時まで (木曜は午後8時まで)

アクセス: パラメントヒルからウエルントンストリート (Wellington Street) を東に進み、サセックスドライブ (Sussex Drive) を左折、さらに左折してアレクサンドラブリッジ (Alexandra Bridge) を渡り、ケバック州ガティノーに入ります。ローリエストリート (Laurier Street) を左折すると、左手が当博物館です。